

アラビア文字圏ポリグロットグロッサリー構築プロジェクト

鈴木 董

- (1) プロジェクト全体計画：アジアについては、文字圏として文化圏を捉えれば、漢字圏・梵字圏・アラビア文字圏の 3 文字圏がその中心的部分を構成していると捉えうる。文字の共有は文明語・文化語の共有より生じ、文明語・文化語の共有は語彙の共有をもたらし、思想・認識に一定の共通枠組みを与える。このような観点から、本プロジェクトは、アジア 3 大文字圏中、まずとりあえずアラビア文字圏を取り上げ、アラビア文字圏における最も基本的な言語として、アラビア文字圏全体の文明語・文化語たるアラビア語、その北半における共通文明語・文化語として共有されるペルシア語、そしてイスラム世界最後の世界帝国的存在であったオスマン帝国の最重要言語であったオスマン語の 3 言語について、アラビア文字配列によるポリグロット・グロッサリーを作成することを計画し、その基礎作業として、上記 3 言語につき、各言語の語彙のアラビア文字入力作業を推進してきた。
- (2) 今年度の進捗状況：5 年にわたったプロジェクトにおいて、アラビア語・ペルシア語・オスマン語及びそれに関連してアルファベット表示のトルコ語につき、語彙のコンピューター入力作業を終え、その最終チェックもほぼ終えることを得た。さらに、この 3 言語をアラビア文字配列するための予備的検討も実施した。

積義については、各言語について各々の言語についての最も古典的な辞書のテキストを、原典性を重んずるべく、原辞書の CD-ROM 版を作成し、各語彙についての積義部分をカット・アンド・ペーストの手法によって、アラビア文字配列することを計画しており、その素材となる原辞典の一部も入手し、CD-ROM 化した。

さらに技法開発のために検討を進めた。ただ、積義部分の全面的配列にむけ検討を続けたが、三言語を合わせて、語彙数にして 25 万語を超えており、積義部分の配列は完成し得なかった。
- (3) 公開済みの具体的な成果物：なし

以上